

VOICE

【ヴォイス】

Vol. **26**
2020 SUMMER
July. August. September. October

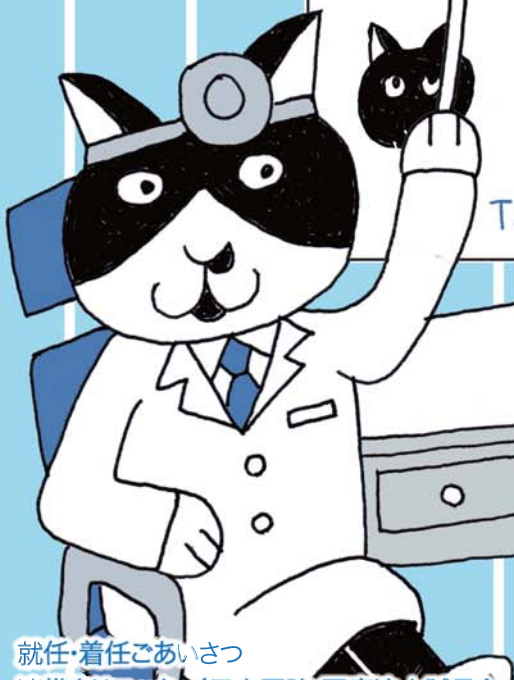
VOICE
特集

がん診療センター開設

Vision test



TANE GENERAL HOSPITAL



就任・着任ごあいさつ
 連携クリニック / 足立医院、医療法人誠昌会 / えさきクリニック
 多根記念眼科病院 / 目に良い栄養素と食べ物
 多根クリニック / ピロリ菌検査を受けましょう！
 亀望会 / 移乗介助リフトの導入
 居宅介護支援事業所より / 最近の施設事情について
 HAPPY RECIPE / 苦くないゴーヤサラダ
 NEW FACE



**VOICE
特集**

がん診療センター開設

一貫したがん治療と充実のサポート体制を整えました

がん診療センター フロアマップ (2F平面図)



別館「がん診療センター」

「がん診療センター」へは本館の2Fの渡り廊下から行くことができます。
※1Fの高精度放射線治療センターから2Fへ行くことはできません。

1F高精度放射線治療センター



2020(令和2)年4月、構想から1年を経て、高精度放射線治療センター2Fに多根総合病院のがん診療の拠点と言える「がん診療センター」を開設いたしました。

乳腺センター、緩和ケアセンター、がん薬物療法センター、そして高精度放射線治療センターのプロフェッショナルたちが集結し、一貫したがん治療をご提供します。加えてペインクリニック、薬剤部、がん専門の認定看護師、そしてがん相談支援センターのスタッフたちのサポート体制も万全。大阪府がん診療拠点病院としての役割を果たすべく、患者さんを全面的にサポートいたします。

がんは日本人にとって死亡原因の第1位であり、これからの超高齢社会においては、生涯でがんにかかる頻度は2人に1人と言われております。もともと当院では各科においてがん診療は積極的に行われておりましたが、さまざまながん以外の疾患に対する高度専門医療や救急医療にも幅広く対応しています。このような総合医療を担う中で、病院機能を強化し、がん診療体制の強化・充実を図る目的でがん診療センターを開設いたしました。

がん治療には、手術療法、放射線治療、そしてがん薬物療法がありますが、これらの治療を組み合わせることにより、がん治療成績は着実に進歩しております。そのため、しばしば診療科の枠を超えた連携が必要になります。

がん診療センターは、高精度放射線治療・乳腺・緩和ケア・がん薬物療法の4つのセンターで構成され、各部門が密接に連携および機能を補完し合いながら、質の高いがん医療の実践を目指してまいります。

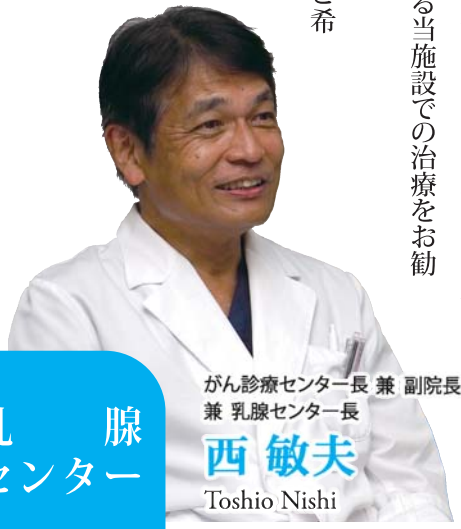
また、がん治療においては早期からの緩和医療の導入の必要性が求められているほか、患者さんやご家族のライフ・スタイルに即した治療の継続が必要です。各がん診療に関わる診療科と連携し、診断・手術・放射線治療・化学療法・緩和ケアと、それぞれの専門医が協力して診療を行いながら、院内各部門のスタッフが恒常的に連携できる体制を整え、地域の住民の皆様にも最良の医療をご提供したいと思っております。

今や乳がんは成人女性の10人に1人の割合でかかると言われており、女性がかかるがんの1位で、年々増加の傾向にあります。乳がん患者は、30歳代後半から急激に増加し、40代後半から50代、60代と年齢が高くなるにつれて罹患率が高くなります。患者数の多い40歳・50歳代は、職場などでの社会的な責任が増したり、子供の進学など家庭的にも重要な時期で、こうした時期に発症しやすい乳がんへの対応は、社会的にも重要な課題となっております。

乳がんにおいて重要なことは、早期発見であり、乳がんが診断されても、早期に見つけて治療すれば、乳がんは完治できる可能性が高いがんです。その診断および治療のためには、専門性のある医療が必要とされています。当院は、大阪府がん診療拠点病院、大阪市乳がん検診施設、さらに精密検査機関でもあることから、乳がんの早期発見・診断ならびに早期治療を心がけています。乳がん検診で異常を指摘されたり、ふとした時に、乳房に硬いしこりに触れたことはありませんか？ 乳房に対し少しでも気になる方は、乳腺センターを受診ください。乳癌学会の専門医が担当しております。

乳腺センターでは乳腺外科医だけでなく形成外科、病理診断科、放射線治療科、薬剤師、技師、看護師とともにチーム医療を実践しております。また、病気の進行があれば緩和チームの加療も必要になります。このように診断、手術、薬物療法、術後放射線治療、長期の経過観察、緩和治療など一貫してできる当施設での治療をお勧めいたします。

セカンドオピニオンをご希望の方は原則土曜日で予約制とさせていただきます。地域情報連絡室を通じてご予約ください。



がん診療センター長 兼 副院長
兼 乳腺センター長
西 敏夫
Toshio Nishi

乳腺がん薬物療法センター



腫瘍内科 副部長
岡田 佳也
Yoshinari Okada

近年急速に発展しているがん薬物療法を安全かつ確実に実施するために機能集約したのが、がん薬物療法センターです。外来通院で薬物療法を受けられる「化学療法室」、臓器横断的ながん薬物療法を専門的に実施する「腫瘍内科」、主に入院中ながん薬物療法を受けられる患者さんの有害事象対策や治療方針の相談・栄養管理・服薬指導などを行う「がん薬物療法チーム」が活動しています。さらに、サポートケア（※）をする「がん看護外来」、治療開始・変更時に薬剤の説明をする「がん薬剤師外来」も行っています。

また、当センターの「ACP外来」（刀山先生のページを参照ください）は、従来の定義よりさらに踏み込んで、がんが診断された患者さんであればいつでもどんな悩みや相談でも受けるということをコンセプトに開設しました。がんとともにどう生きていくのかを患者さんやご家族と一緒に考え、さまざまな角度から支援できるように日々勉強してまいります。

がん薬物療法は、その不安の大きさから有害事象などのマイナスイメージを持たれる方も多いですが、がん三大治療の一つとしてがん治療の進歩に大きく貢献しており、今後のがん治療においてますます大きなウェイトを占めるようになります。また、多岐の薬剤が登場したことにより有害事象の対策も複雑化しており、サポートケアという分野・考え方も普及してきています。患者さんやご家族には、正しい知識を持っていただいた上で納得のいく治療を選択し、安心・安全に治療を続けていけるようにセンター一丸となって支援させていただきます。

※サポートケア… 支持療法。主にがん薬物療法に伴う有害事象に対する治療

緩和ケアセンターでは、緩和ケア病棟への転院希望、他施設からの紹介患者窓口、さらに当院で治療中のがん患者さんの症状緩和を目的に活動しています。スタッフは、専従医師5名、認定看護師4名、薬剤師2名、連携室5名の多職種でサポートしています。

今回のがん診療センター開設における当センターの役割は、がんの告知、治療開始から身体的・精神的な苦痛緩和を目的とした緩和ケアをご提供することです。例えば、がん治療による副作用の改善、患者さんが希望されれば積極的な放射線治療も行いますが、入院せずに在宅で緩和ケアを受けていただくことも可能です。また、看護外来とも連携し、認定看護師が患者さんご家族をサポートするだけでなく、患者さんご家族の希望に応えるために、さまざまな選択肢をご提供いたします。分からないことや困ったことがあれば、遠慮なくご相談ください。

緩和ケア外来では、以前よりACP（日本では「人生会議」という名称で呼ばれています※）に基づき、希望する医療やケアについて事前に考えてきました。この7月からさらにはさらに一歩進めて、精神科の医師の協力のもと「ACP外来」を開始いたしました。

緩和ケア外来でフォローされている患者さんの容態が急変した時には、当院の救急外来で24時間365日対応できる体制をとっています。がん患者さんだけでなく在宅医にとっても最後の砦になりたいと考えています。

緩和ケアセンター



高精度放射線治療センターは、2011（平成23）年6月に開設されて以降、年間350名以上の放射線治療を行ってきました。うち約60%は他院からの紹介患者さんであり、地域に開放された施設です。

高精度放射線治療装置である「ノバリスTx」と、2018（平成30）年に最新のものに更新した治療計画装置等の周辺機器を用い、根治治療から緩和治療まで、個々の症例に最適な放射線治療を提供しています。

当センターの特徴としては、強度変調放射線治療（IMRT）や定位放射線治療（SRT）などの高精度放射線治療を受ける患者さんの割合が60%近くを占めることが挙げられ、この中には他院では放射線治療の適応外とされた患者さんも含まれています。このような治療を実践するために、3名の放射線治療専門医と6名の放射線技師（うち2名は医学物理士）が在籍し、性能の高い装置をしっかりと使いこなせる体制を整えています。

また、がん放射線療法看護認定看護師を含む2名の看護師が常駐しており、患者さんの身体・精神の両面で万全のサポート体制を敷いています。

がん診療センター開設に伴い、院内他科や地域医療施設との連携を強化し、集学的治療の一環としての放射線治療を、より安全・迅速に実施していきたいと考えています。



放射線治療科 部長
石井 健太郎
Kentaro Ishii



緩和ケアセンター長 兼 副院長
刀山 五郎
Goro Tachiyama

※ACP（Advance Care Planning）
患者さん本人とご家族が医療者や介護提供者などと一緒に、現在の病気だけでなく、意思決定能力が低下する場合に備えて、あらかじめ、終末期を含めた今後の医療や介護について話し合うことや、意思決定ができなくなった時に備えて、本人に代わって意思決定をする人を決めておくプロセスを意味しています。

がん治療をサポートする
認定看護師

がん化学療法看護認定看護師

化学療法室にて化学療法の投与管理を中心に化学療法を受ける患者さんのサポートケアを行っています。特に身体の変形・癬痕・脱毛・皮膚や爪の障害・むくみなど治療によって外見の変化を生じますが、治療に伴う身体的副作用の中でも外見に現れる副作用の苦痛度が高かったという結果があり、そういった外見の変化に起因するがん患者さんの苦痛を軽減できるようにサポートしています。

メッセージ がん薬物治療のことならお任せください。気軽に相談ください。

がん化学療法看護認定看護師
柴垣 美和



認定看護師(左から、柴垣、藤原、島田、米谷)

がん性疼痛看護認定看護師

緩和ケアチームに属し、医師や薬剤師など多角的視点で症状を緩和するサポートをしています。12階には緩和ケア病棟もあり、緩和ケア病棟に入るための面談も医師とともにしています。痛みや身体のだるさなど症状によって日常生活がうまくできない場合、困っている日常生活ができる状況まで苦痛を緩和する方法を患者さんや病棟看護師へ伝えています。また、がん看護外来では、がんによる症状でお困りの方へ自宅でもできる症状緩和のコツをお伝えしています。

メッセージ 「がん」と診断された時のつらさもお一人で抱えずにご相談ください。がん看護外来は主治医に受診希望を伝えていただくだけで受診できます。より多くの方の苦痛が和らぎますように関係部署と連携をとりながら症状緩和を行ってまいります。

がん性疼痛看護認定看護師 **米谷 晶子**

がん放射線療法看護認定看護師

主にがん放射線療法を受ける患者さんやご家族に対して、治療選択における意思決定支援や治療期間中の日常生活支援を行っています。また専門の看護外来を開設しています。特に高精度放射線治療センター内では放射線治療におけるサポートを行っています。例えば、放射線治療中は治療計画から予測される有害事象に対して早期に介入することで症状の悪化を予防し、予定された治療を安全・安楽に完遂できるようサポートしています。放射線治療後は、看護外来において治療中および治療後に発生した副作用や日常生活上の問題に対して認定看護師が継続的にサポートしています。

メッセージ なにか困っていることや不安に思うことがございましたら、いつでも気軽にご相談ください。

がん放射線療法看護認定看護師 **島田 千暁**

メッセージ がん患者さんやご家族の抱える気かりについては小さい大きいにかかわらず一緒に解決していきたいと考えています。電話などでの相談も可能です。気軽に相談していただけたらと思います。

がん放射線療法看護認定看護師 **藤原 真喜子**

がん放射線療法看護外来 月～金曜日 10:00～12:00、13:00～15:00

がん診療センター お問い合わせ ☎ 06-6581-1071 平日9:00～16:30、土曜日9:00～12:00

緩和ケア科
ペインクリニック

がんの治療をしていく中で、患者さんはさまざまな痛みを経験してきます。例えば、手術による傷の痛み(術後痛)や抗がん剤や放射線治療による末梢神経障害(神経障害性疼痛)などです。それらによって治療継続が困難な場合、適切に鎮痛剤を使用することで治療を継続できる場合があります。



緩和ケア科 ペインクリニック
河合 茂明
Shigeki Kawai

鎮痛剤は全ての医師が使用する基本的な薬剤ですが、私はペインクリニックという痛みの専門家として症状に対してよりよいご提案ができます。また、内服薬だけでなく痛みが伝わる経路を一時的に停止させるブロック注射などの神経ブロック治療も可能です。さらに、がん自体による痛みや転移による痛みが強くなってきた場合、QOLを維持するために痛みの管理も重要となってきます。その場合は、鎮痛剤の種類や副作用・剤型(経口薬・注射剤等)などを日々変わっていく患者さんの状態を評価しながら適切に変更していきます。

治療時期は基本的にはどの時期であっても対応させていただけなのですが、がんと診断された早期から介入することで症状をコントロールしやすくなります。そのため、不安に思うことがあれば緩和ケアチームに早めに相談していくことが大事です。私は、緩和ケアチーム内のペインクリニック専門医として、患者さんの状態に向き合い最適な提案ができればと思っています。

充実のサポート体制

当院でがん薬物療法を行うには、レジメン(抗がん剤、輸液、制吐剤などの支持療法薬を実際に投与する際の時系列的な治療計画)を登録する必要があります。登録のために毎月1回行われる「化学療法委員会」でレジメン審査を行っています。この化学療法委員会には医師、看護師、栄養士、事務とともに薬剤師も参加しています。また、毎週1回化学療法キヤンサーボードが行われており、医師、看護師、薬剤師が参加し、症例を提示して治療を協議しています。

がん治療はチーム医療ですので、医師や看護師、栄養士、事務と協力しながら、患者さんに安心・安全で質の高いがん治療を提供できるように努めています。

薬剤部

当院薬剤部の薬剤師は19名、抗がん剤のミキシングは2名の薬剤師が行っています。その中で、がん診療センターには専任1名、兼任2名の薬剤師が業務に就いています。

近年、内服抗がん剤や点滴抗がん剤の開発により、外来で抗がん剤治療を受けることが主流となっています。外来でのがん治療は、通院して治療を受けるということから普段のライフスタイルを維持することができるといったメリットがあります。しかし、内服や点滴の抗がん剤は投与して数日経過してから副作用が出現することがあります。当院では毎週金曜日の午後に薬剤師外来を行っており、新たに治療が始まった患者さんや治療内容が変更となった患者さんとの面談を通じてこのような副作用を早期発見し、医師や看護師と協力しながら早期対応できるよう努めています。



がん診療センターで活躍する薬剤師

連携クリニック

連携クリニックとは

病院とクリニックとが互いに緊密に手を取り合い、適切で切れ目のない医療提供の実現を目指すためのネットワークです。当院でも安心して治療を受けていただけるよう地域のクリニックにご登録いただいております。

足立医院

【診療科目】内科、外科、整形外科、肛門科、リハビリテーション科

三泉北商店街の中にある足立医院。2003(平成15)年、長年地元の方々の健康を守っていた大八木クリニックの後を継ぎ、足立医院を開院されました。

—足立俊之院長は長年消化器外科を専門とされていたようです。

はい、外科、消化器外科を専門にしておりましたが、今は整形外科に力を入れています。レントゲンやエコーで診断し、再検査が必要な場合はMRIもオーダーで実施するなど患者さん第一で素早い診断を心がけています。

また、リハビリテーションにも注力しており、各種リハビリテーションを実施。2人の専属のマッサージ師によるマッサージ施行、さらに鍼灸院とも連携しています。

—往診もされていますか。

はい、在宅医療にも重きを置いています。訪問看護ステーションとも連携し、24時間体制で対応しています。そのため夜中の往診もしています。来院できない方には往診にてブロック注射を行うなど、患者さんの悩みに寄り添い、診療しています。

—メッセージをお願いします。

痛みなどの不調はがまんせずお気軽にご相談ください。

院長 **足立 俊之**

趣味/トレッキング

〒551-0001
大阪市大正区三軒家西3-6-3
TEL:06-6555-5276



医療法人誠昌会 えさきクリニック

【診療科目】整形外科、外科、リハビリテーション科、内科

<https://esakiclinic.net/>

Osaka Metro朝潮橋駅から徒歩のところに位置するえさきクリニック。ピンクカラーの分かりやすい看板が目印です。江崎秀和院長にお話を伺いました。

—ピンクカラーのモチーフで分かりやすいですね。

ピンクが持つ、幸せになる、優しい気持ちになる、そして心も体も若くなるというカラーメッセージを込めました。また、院内の待合室は車いすの方でもゆったりとお過ごしいただけるようにし、リハビリテーション室は広くゆとりのあるスペースで十分なリハビリが行えるよう配慮しています。

—ホームページ内のブログを拝見すると院内スタッフで勉強会も実施されています。

はい。少しでも良くなっていただけるようにミーティングを重ね、より良い医療のご提供を心がけています。

また、待ち時間をつくらぬよう、スタッフ間で協力し合って診察やリハビリのご案内をしています。

—メッセージをお願いします。

「何かあったら当院に相談したい」をコンセプトに地域に愛され、喜ばれる医療のご提供を目指しています。気になることがありましたら何なりとご相談ください。

院長 **江崎 秀和**

趣味/サッカー

〒552-0004
大阪市港区夕風2-16-9
ポートビル1F
TEL:06-6599-0115



就任・着任ごあいさつ

理事長就任のごあいさつ

皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、小川嘉誉の後任として、社会医療法人きつこう会の理事長に就任いたしました多根一之でございます。

きつこう会は昨年創立70周年を迎えることができました。これもひとえに、きつこう会をご支援ご指導いただきました医療福祉関係団体・大学・関連企業の皆さま、地域の皆さま、職員のお蔭であると心より感謝するとともに、厚く御礼申し上げます。

きつこう会は、基本方針として“質の高い医療・介護・予防をシームレスに展開し皆さまに愛される存在となります”と掲げております。この基本方針をさらに推進し大阪市西部エリアにおいて存在意義を高めたいと考

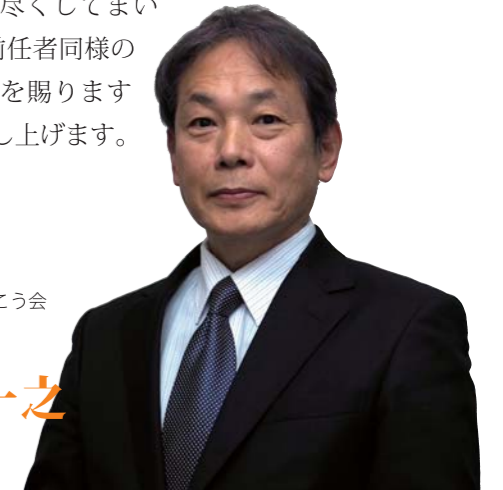
えております。この4月1日より理事長の重責を担い身の引き締まる思いではありますが、当法人のさらなる成長と発展を実現させていく所存です。

甚だ微力ではございますが、皆さまからのご期待に沿えるよう全力を尽くしてまいりますので、前任者同様のご指導ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

社会医療法人きつこう会

理事長

多根 一之
Kazuyuki Tane



着任のごあいさつ

今春4月1日から総合診療内科 感染制御部に着任しました高宮みさきです。浜松医療センター(静岡県浜松市)からまいりました。前任地では10年間、感染症に関わる様々なことについて教えてもらい、学ぶ立場でした。今後はその経験を活かして創りあげていけたらいいなど考えていたところ、ご縁があり、着任の運びとなりました。

とはいうものの、新型コロナウイルス感染症の影響は予想以上に大きく、着任早々激流に巻き込まれたような感じです。感染制御部のメンバーの方々を中心に大いに助けられながら過ごしております。

今回の流行は、後に「コロナ前・後の世界」といわれる時代の境目になるかもしれません。新たな災害の形でもあると思います。人々がつながっていて社会が動き、そこに感染がおこることがある。突きつめてしまえばそれだけのことです。しかし、1980年代のHIV、2003年のSARS、2009年の新型インフルエンザ、2012年のMERS、そして今回の新型コロナウイルス感染症、それぞれ規模

や形は違いますが、いずれもパニックや差別を引き起こしています。時代が進んでも、「正しく恐れる」ことがどんなに困難であるか、あらためて思い知らされています。

感染対策に、魔法のような方法はありません。ただ粛々と、やれることをやっけていだけてです。それでも、今回のことを教訓に次の新たな感染症に備えて準備をしておかなければならないでしょう。それには病院全体での取り組みも欠かせません。あちこちに顔を出すことになると思いますが、よろしく願いいたします。

感染制御部特命部長、内科医長

高宮 みさき
Misaki Takamiya





今回はピロリ菌検査についてご紹介します。



ピロリ菌とは

正式名称は「ヘリコバクター・ピロリ」という細菌です。多くの研究でこのピロリ菌が慢性胃炎や胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃がんなどの疾患の原因になっていることが分かっています。

ピロリ菌に感染すると、その菌が発するアンモニアなどによって胃の粘膜が炎症を起こし、この状態が長く続くことで胃を中心に様々な障害が引き起こされると考えられています。その障害のひとつが胃がんです。近年は減少傾向にあると言われてはいますが、依然として国内での罹患率の高い悪性腫瘍です。

ピロリ菌の感染者数は日本でもおよそ6,000万人にのぼるとされており日本の胃がんの9割以上はピロリ菌の感染が原因とされます。胃がんはピロリ菌の除去により、高い確率で病気の改善が見られます。ピロリ菌に感染しているかどうかを調べる検査方法はいろいろあり内視鏡で調べる方法もありますが、血液や尿、便、呼気などで調べる方法が簡便です。

今回は人間ドックのオプション検査でも多く実施されている便による検査をご紹介します。

【糞便中抗原測定】

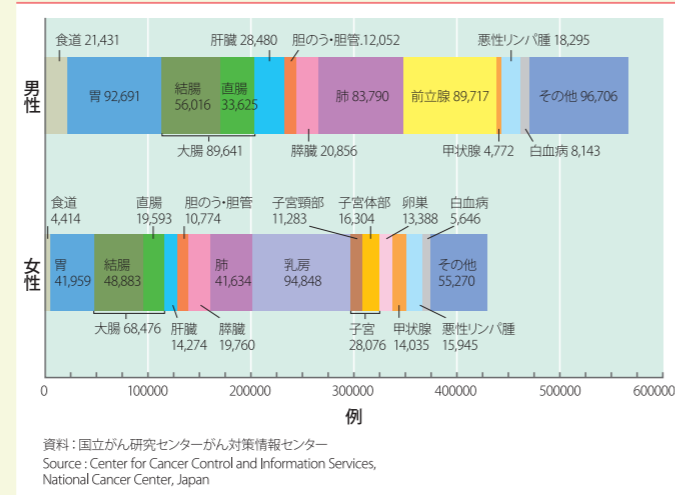
便の一部を採取し、糞便中のピロリ菌抗原の有無を調べます。専用の検査容器に糞便を採取し提出するだけで簡単に検査できます。検査料金も1,500～2,500円程度です。

もし、検査結果が陽性だったら…

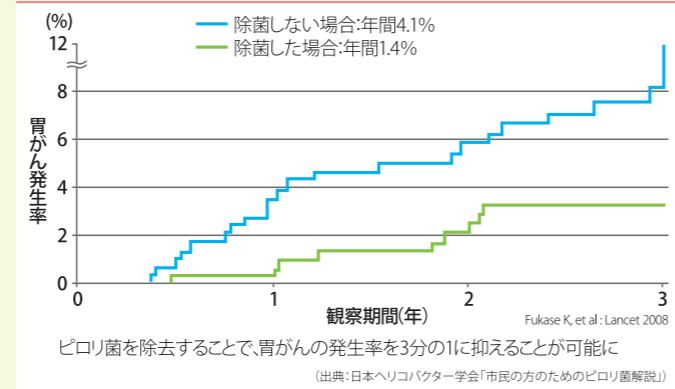
ピロリ菌に感染していることが判明した場合は医療機関で除菌治療を行います。通常、除菌治療は薬を7日間服用するだけです。約7～8割は除菌されますが、もし除菌されない場合は、薬の種類を変え再除菌(二次除菌)を行います。

以上のように、ピロリ菌検査は手軽にでき、胃がんなどの疾患のリスクを低減する手段として有効な検査です。今までピロリ菌検査をされていない方は是非一度、検査を受けてみることをお勧めします。

部位別がん罹患数 2016年



ピロリ菌除去後の胃がん発生率



詳しくは右記まで
社会医療法人きつこう会 **多根クリニック**
日本人間ドック学会・健康施設機能評価認定
日本総合健診医学会 優良施設認定・日本脳ドック学会 認定施設

お問い合わせ先 06 (6577) 1881
大阪市港区弁天1丁目2番 2-600 大阪ペイタワー (旧オーク200) イースト6階



多根記念眼科病院

目に良い栄養素と食べ物

多根記念眼科病院 栄養科

食べ物に含まれている栄養素は、身体の中でそれぞれ重要な働きをしています。今回は、特に目に良い効果を与えるとされている栄養素を取り上げ、それを多く含む食品とともにご紹介します。

栄養素	働き	多く含む食品
ビタミンA	粘膜を正常に保ち、目に潤いを与えます。不足すると夜盲症やドライアイの原因となります。	レバー、人参、小松菜、かぼちゃ、春菊、ほうれん草
ビタミンB1	視神経の働きを高めて目の周辺の筋肉の疲れを和らげます。	豚肉、大豆、玄米、とうもろこし
ビタミンB2	粘膜を正常化して、網膜と視神経を活性化します。	レバー、納豆、牛乳、サバ、カレイ
ビタミンB6	水晶体の代謝と免疫機能を高めます。	牛肉、豚肉、イカ、バナナ、クルミ
ビタミンB12	視神経の機能を正常にします。	レバー、イワシ、牛乳、牡蠣、しじみ、サンマ
ビタミンC	毛細血管を強化し、老化防止に効果があります。	キウイ、いちご、柑橘類、さつまいも
ビタミンD	目の機能の活性化に効果があります。ビタミンAやカルシウムの吸収を良くします。	カレイ、サケ、しいたけ、きくらげ
ビタミンE	抗酸化作用により、体内の脂質を酸化から守り、細胞の健康維持を助けます。	かぼちゃ、アーモンド、玄米、アスパラガス
タウリン	体内で最も多いアミノ酸の一種です。網膜細胞の発達を助けます。	ホタテ、はまぐり、あさり、タコ、イカ
ルテイン	抗酸化作用をもつカロチノイドの一種です。青色光を遮断することで、黄斑部を守ります。	ブロッコリー、小松菜、ほうれん草、パセリ
アントシアニン	抗酸化作用をもつポリフェノールの一種で、天然色素です。暗順応を高める効果があります。	ブルーベリー、ぶどう、黒豆、しそ、赤ワイン

目に良い食べ物はいかがでしたか。主食、主菜、副菜の中にこれらの食品を組み合わせたバランスの良い食事、目に良い栄養素を摂取するようにしましょう。



居宅介護支援事業所より

第13回 最近の施設事情について

多根総合病院居宅介護支援事業所 所長 日當 福太郎

私はケアマネジャーの仕事に就いて12年になります。その間に施設の事情は大きく変化してきました。今回は私が現場で感じている各施設の動向を簡単にご説明できればと思います。もちろん介護保険施設の動向については、地域で異なります。今回私が紹介するのはあくまでも、多根総合病院の近隣エリアのお話です。

特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)

私が仕事を始めた当初は、申し込んでも入所できなかったり、入所できるまで何年も待たなければなりません。しかし数年前から、入所しやすくなったようです。なぜでしょうか？ 私が考える要因は主に下記の3つです。

- ① 対象者を原則要介護3以上に絞った。また介護度が高い利用者さんは、入居期間が短い傾向にあり、施設の回転率が上がった。
- ② 施設数が増えた。
- ③ 新設された施設はすべてユニット型個室であり、室料が高い。

しかし、この2年ほどの間では近隣の施設で新設がないため、空きはあまりないようです。ただ介護度が高い利用者さんは優先されるので、介護度4及び5の利用者さんは申し込みをすれば、以前のように何年も待機することはないようです。

ポイント 以前に比べると入所はしやすいです。介護度4や5の認定の方はすぐに入所できるケースもあります。一方で要介護1及び2の方は原則入所できない制度になっています。ちなみに多床室の場合は女性の方が入居しやすいようです。

介護老人保健施設

元々老人保健施設は、リハビリして在宅に戻るための施設でした。イメージとしては、急性期病院→老人保健施設→在宅です。しかし、現実には在宅できず数年間も老人保健施設に入所する方が多いというのが現実でした。大きく変化したのが、2018年の介護報酬改定です。この改定で国は、老人保健施設に対して、在宅復帰に取り組むよう強く求め、在宅復帰率が高いほど報酬も変化する仕組みを強化しました。それに伴い、各老人保健施設が在宅復帰を強く意識した結果、入所から退所までの期間をおおよそ3ヶ月と設定する施設が増えてきています。ただし施設によって温度差があり、強く退所を求められる施設とそうでない施設があります。

ポイント 3ヶ月で退所を求められる施設が増えてきており、老健は長期滞在ができる施設ではなくなってきています。介護度問わず入所はしやすいようです。



有料老人ホーム

数年前までは、有料老人ホームの営業の方がよく来られていました。しかし、最近ではあまり営業に来られなくなっています。問い合わせをしても空きがないと言われることも増えてきました。高齢者人口の増加や老健から退所を求められた利用者さんが入居を希望されるケースが増えてきているのが要因であると考えられます。

まとめ 今後高齢者人口は増加していきます。それに伴い施設の数も増えていくかと問われるとそうではないと私は考えます。理由は、介護職員の獲得が容易ではないからです。施設をつくっても、介護職員が集まらず入居できないという話をよく聞きます。この傾向は今後も続くと思われます。今後は介護予防に努め、リハビリなどを行いながら住み慣れた家で過ごせるよう日々取り組んでいくことが重要でしょう。私たちケアマネジャーもそのお手伝いができるよう日々研鑽してまいります。介護保険制度や在宅での高齢者福祉制度についてご質問などありましたらご連絡ください。

※今号の記事とVOICE24号及び23号の記事をあわせて読んでいただくと、より分かりやすいと思います。院内のバックナンバーかホームページをご参照ください。

お問い合わせ先 多根総合病院居宅介護支援事業所 TEL. 06-6536-8803



vol.13 「より良い介護を目指して」 移乗介助リフトの導入



特別養護老人ホーム江之子島コスモス苑
機能訓練指導員 島本 昌弘

現在の日本では介護分野の人材確保が課題になっています。離職の大きな理由として介護士の腰痛が挙げられ、介護ロボットやAIの活用などを取り入れて負担の軽減を行うことが求められています。

江之子島コスモス苑でも、平均介護度が4.1と重度の方が入所されており、9割の方は車いすを使用され、そのうち半数の方は全面的な介助が必要で車いすに座っている状態のため、移乗介助における腰痛予防に取り組むことが課題でした。そこで、腰痛予防委員会を作り、様々な視点から負担軽減を考え「移乗介助リフト」の導入を進めました。

「リフト」という言葉を聞くと多くの方が「機械の介護はちょっと…」、「そこまでなくても」などの感想を言われます。どうもリフトへの抵抗感が強いようです。しかし、リフトを使うことで1日に何回も必要となる介護士の移乗介助における腰への負担から解放され、ご利用者さんも安全で快適な移乗介助を受けることができます。

移乗介助リフトは体の下に専用のシートを敷いて機械

で体を吊り上げてベッドから車いすへと移動します。安全に活用するためには使用方法をしっかりとマスターすることが重要で、事前に何度か勉強会を行い、職員同士で体験もしながら勉強してきました。利用者さん一人から使用をはじめ、今では10名程の方を対象に活用しています。リフトの数も1台から少しずつ増やし、現在は5台のリフトを用意しています。導入前には利用者さんが怖い思いをしないか心配もしていましたが、リフトで吊られるということは決して苦しいことではありません。介助中に笑顔が見られたり、シート装着時に協力をいただけたといったこともあります。

昔と違い日本人も背が高く体格が良くなってきているので、女性で介助できるのか？ 体力が落ちてきたら介護士を続けられるだろうか？ と不安を感じていましたが、リフトは心身ともに強い味方になっています。今後も新しい福祉用具に目を向けながら働きやすい職場作りを進めていきたいと思っています。



移乗介助リフト



専用のシートを敷いて体を吊り上げる



安全に車いすへ移動

NEW FACE

研修医自己紹介

後ろ左から、日野、佐藤
手前左から、遠藤、山本、今中

日野 優里 Yuri Hino

本年度より入職させていただきました、研修医1年目の日野優里と申します。この1年間多根総合病院で働かせていただくことになり、期待に胸を膨らませております。医師としても社会人としてもスタートを切ったばかりで、まだまだ至らない点ばかりの未熟者ですが、一日でも早く、患者さんのお役に立てるよう、また一人前の医師に近づくことができるよう、精一杯精進してまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

佐藤 雅俊 Masatoshi Sato

はじめまして。今年度より初期研修医として働かせていただく佐藤雅俊です。中学・高校は大阪星光、大学は大阪市立大学出身です。部活は野球とバレーボール部に所属しておりました。まだまだ未熟者ですが、日々精進してまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

山本 匠 Takumi Yamamoto

はじめまして。本年度より入職させていただきました研修医1年目の山本匠と申します。出身は和歌山で、大学は大阪市立大学でした。小学校から大学までの15年間サッカーをやっておりました。まだまだ慣れないことばかりで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、日々精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

遠藤 洋己 Yoki Endo

本年度よりお世話になっております遠藤洋己と申します。中高は大教大池田、大学は大阪市立大学に通っておりました。部活はサッカー部に所属しておりました。まだまだ至らない点ばかりで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、多くのことを吸収し一日でも早く一人前の医者になれるよう日々精進します。どうぞよろしくお願いいたします。

今中 孝 Takashi Imanaka

はじめまして、本年度より入職させていただきました研修医1年目の今中孝と申します。奈良県立医科大学出身で、部活はサッカー部に所属しておりました。現在もサッカーを続けています。医師として社会人としてまだまだ未熟ですが元気に日々精進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

HAPPY RECIPE

ハッピーレシピ

今回のレシピ
苦くないゴーヤサラダ医療技術部 栄養管理部門 管理栄養士
荒金和歌子 Wakako Aragane

沖縄の言葉では語尾を伸ばすことが多いため、にがうりは「ゴーヤー」と発音します。沖縄野菜の代表です。熟す前の未熟果を食べますが独特の苦味があり、この苦味成分が胃液の分泌を促し食欲増進に繋がります。加熱に強いビタミンCとカロテンが疲労回復にも効果的です。また発汗によって失われるビタミンやカリウム、カルシウムなどのミネラルを補ってくれる優れたものです。夏バテしやすいこの時期にいかがでしょうか。

●材料/1人前

ゴーヤ…半分
玉葱…半分
ツナ缶…1個
マヨネーズ…大2〜3
黒こしょう…お好み

●作り方(エネルギー1人前:約220kcal 塩分:0.2g)

- ①ゴーヤは縦半分に切り、スプーンで種を取り除く。薄くスライスし、塩をふってもむ。
- ②①をさっと茹で、水気を切る。
- ③玉葱はスライスし水にさらした後、水気を切る。
- ④②と③と油きりしたツナ缶とマヨネーズを混ぜ合わせる。最後に黒こしょうをふりかけてできあがり。

News

当院は、卒後臨床研修評価機構から認定を受けました。

臨床研修評価は研修医の質の向上を目的とするものですが、同時に病院の質も上げられます。これからもさまざまな方面から病院の質の向上に向けて取り組んでまいります。



